

技能検定功労者に大塚、神野氏

厚労大臣表彰

振興は関電工に栄誉

〈1/23 日工経〉



県は、2021年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰の本県受賞者を発表した。技能検定関係事業所はアイ・シー・エス栃木工場（加藤秀夫工場長）、技能検定関係功労者はガラス施工の大塚久夫氏（大塚硝子店）、配管の神野重樹氏（神野設備）が受賞。技能振興関係事業所には関電工北関東・北信越営業本部栃木支店（田中久貴支店長）が選ばれた。

アイ・シー・エス栃木工場は通算15年間にわたり実

技試験会場を提供したほか、技能検定委員の派遣、自社従業員に対する受検勧奨など技能検定に積極的協力した。

大塚氏は1994年度から2020年度、神野氏は08年度から20年度に技能検定委員として実技試験の公正で円滑な実施に努めた。また、後進の指導育成に力を注ぎ、多くの技能士を輩出している。

関電工北関東・北信越営業本部栃木支店は1966年から技能五輪に挑戦しており技術技能と指導力を兼ね備えた技能者の育成に取り組んでいる。毎年全国大会へ選手を輩出し、数多くの選手が入賞している。

また、「電工」「情報ネットワーク」「配管」の3職種で技能五輪の選手育成に取り組んでいる。技能五輪だけでなく県主催の技能振興イベントに参加するなど技能振興に大きく貢献している。

厚労相表彰は認定職業訓練や技能検定の実施、技能振興に関する多大な功績があった個人や団体を顕彰する制度。技能労働者の技能水準の向上や処遇の改善、地位向上に役立てるとともに、将来を担う優秀な技能者の確保や育成に努めるのが目的。

表彰式は新型コロナウイルス感染症防止の観点から開催が見送られた。